

信州大学医学部附属病院 血液内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年8月31日

「骨髓像による特発性血小板減少性紫斑病(ITP)スクリーニング法の検討」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3454
研究課題名	骨髓像による特発性血小板減少性紫斑病(ITP)スクリーニング法の検討
所属(診療科等)	信州大学医学部大学院医学系研究科
研究責任者(職名)	山根拓(大学院生)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年3月31日
研究の意義、目的	骨髓血塗抹標本を用いた、特発性血小板減少性紫斑病の診断方法の検討目的とした研究で、特発性血小板減少性紫斑病の診断に貢献すると考えられます
対象となる患者さん	2018年3月までに当院にて特発性血小板減少性紫斑病と診断された方、及び骨髓移植ドナーの方で骨髓液を採取された方。
利用する診療記録／検体	骨髓血塗抹標本及び骨髓病理組織標本
研究方法	信州大学医学部内科学第二(血液内科)に保存されている対象疾患の骨髓血塗抹標本を収集し、巨核球の長径を測定します。また光学顕微鏡を用いて巨核球(様)細胞の細胞形態に関して評価します。ITP群、健常群で観察し、診療録の各種臨床データとともに、鑑別する指標を統計学的に検定します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	石田文宏(信州大学医学部附属病院 血液内科) 電話:0263-37-2634 中澤英之(信州大学医学部附属病院 血液内科) 電話:0263-37-2634

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。
必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。
この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。